



# 資料館インフォメーション

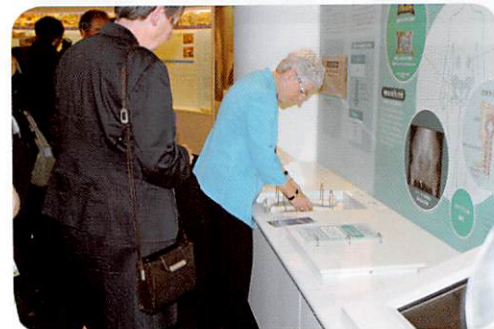


## G7環境大臣会合に出席された各国の閣僚らが来館されました

5月15日(日)・16日(月)に富山市で開催された先進7ヶ国(G7)環境大臣会合に出席された日本・アメリカ・ドイツ・フランス・イギリスの閣僚ら42名が、16日の会合終了後、環境省によるエクスカーション(視察旅行)として来館されました。

閣僚らは、鏡森館長の英語による解説で展示室を見学。全身70ヶ所以上骨折した患者の写真などを見てイタイイタイ病の実態を知り驚いておられた様子でした。

見学後、閣僚らは語り部一人ひとりに「長い間大変でしたね。」などと手を取り声をかけておられる場面もありました。



骨の重さを持ち比べている  
アメリカのゾーナ・マッカーシー環境保護庁長官



## 世界の若者もイタイイタイ病を学んでいます

開館以来、多くの外国人が資料館を訪れています。

5月25日(水)、富山市婦中地区の青少年海外派遣事業で来県されていた、シンガポールのSt.マーガレットセカンダリースクールの生徒ら25名が資料館を訪れ、イタイイタイ病の恐ろしさや克服に向けた取り組みについて学んで帰られました。

5月27日(金)、アメリカのオハイオ州立大学で公衆衛生学を学ぶ学生ら22名が資料館を来館。展示室の見学では、健常者の骨と骨粗しょう症の骨の模型に触れ、重さの違いに驚きの声を上げていたのが印象的でした。



St.マーガレットセカンダリースクール(シンガポール)の皆さん



オハイオ州立大学(アメリカ)の皆さん

## ~国外への情報発信をさらに強化しています~

イタイイタイ病資料館の施設概要や交通案内などを記載したパンフレットの「スペイン語版」「ポルトガル版」「フランス版」を新たに作成し、既存の5ヶ国語(日本語・英語・中国語・韓国語・ロシア語)と合わせて8ヶ国語に対応しました。



新たに作成したパンフレット  
(写真左よりスペイン語・ポルトガル語・フランス語)

## 資料館の動き

### これまでの出来事(平成28年度上半期)

- 平成28年
  - 4月26日(火)~5月5日(木・祝) 春の特別企画展 『イタイイタイ病弁護団の軌跡』
  - 4月27日(水) 留学生のためのイタイイタイ病講座
  - 6月25日(土) 語り部・解説ボランティア研修会
  - 7月29日(金)~30日(土) 夏休み自由研究講座 ~イタイイタイ病を学ぼう~
  - 8月 5日(金) イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー
  - 8月18日(木) イタイイタイ病資料館活用研修会
  - 8月20日(土)・24日(水)・27日(土) 読み聞かせの会



### これからの行事予定(平成28年度下半期)

- 10月 1日(土) 四大公害病の語り部講話を聴く集い ~語り部による伝承会~

- 平成29年
  - 2月18日(土) イタイイタイ病を考える県民フォーラム

## 語り部講話の聴講者を募集しています。

資料館を団体(原則10名以上)で見学される場合には、事前に申込みいただくとイタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

## メールマガジン 【登録者募集中】

月に1回、資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mlhope@itaiitai-dis.jp】

発行/富山県立イタイイタイ病資料館  
(平成28年9月発行)

〒939-8224 富山県富山市友杉151番地(とやま健康パーク内)  
電話▶076-428-0830 FAX▶076-428-0833  
URL▶http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/ 富山県

富山県立イタイイタイ病資料館  
Toyama Prefectural Itai-itai Disease Museum

# 資料館だより

2016年 秋号

## contents

- 春の特別企画展開催..... 2
- イタイイタイ病の教訓継承に向けて... 2
- 子ども向け夏休み企画開催..... 3
- 資料館インフォメーション..... 4



平成28年5月16日

G7環境大臣会合に出席された各国の閣僚らが来館

4月26日~5月5日

春の特別企画展の開催

鏡森館長による展示解説を聞く閣僚ら



春の特別企画展(写真パネルの展示)



春の特別企画展(対談)



春の特別企画展(講演)

## 今夏の小学生のイタイイタイ病の学びの広がり

富山県立イタイイタイ病資料館 館長 鏡森定信

記録的な猛暑でした。皆様がお元気に秋を迎えられたことを願っております。

さて、今夏の小学校高学年を対象としたイ病について学ぶ、自由研究講座(午後コースで2回)と日帰りバスツアー(一日コースで1回)には、毎回30~40名の学童と保護者の皆さんが参加されました。被害地の富山市以外からも参加いただき、これまで以上に多くの方々に学びを深めてもらいました。ご協力いただいた先生方、そして当日一緒にいただいた保護者の皆様に深く感謝いたします。

また、これらの行事では、語り部さんとの交流、被害地や原因工場の見学など、被害者や神岡鉱山にも協賛いただき学びを深めております。ご協力いただいている皆様に深く感謝いたします。これ以外に、夏休み期間も例年になく、親子連れの来館者を多く見受けました。

両陛下やG7環境大臣のイ病資料館ご訪問が、イ病への関心を高めました。当館としては皆様とともに、学童・生徒の学びを一層広め、深めていきます。今後ともよろしくお願い致します。





## 今年も子どもたちがイタイイタイ病について学びました。

### ○自由研究講座～イタイイタイ病を学ぼう～

講座には、2日間で県内の小学3～6年生とその保護者28組58名が参加しました。  
参加者は、まず、資料館語り部である高木良信さんより病気の恐ろしさや被害の実態、患者の症状、裁判闘争など実体験を踏まえた解説を聞き、公害の悲惨さと被害の根絶に向けた取り組みを学びました。また、解説の合間には、クイズを行い、親子で協力して展示室に隠された答えを探しました。  
講座の後半には、石けんの歴史や成分、環境等との関わりについて学んだあと、石けん水入りの容器に保湿用オイルや香りの元となるオイルを数滴入れて自分好みのハンドソープを作りました。

開催日時と内容 7月29日(金)、30日(土) <13:30～16:30>

- ①ガイダンス映像上映
- ②高木良信さんの展示解説
- ③石けんと環境との関わりについての学習及びハンドソープ作り

### 参加者の声

富山の「公害」の歴史について触れることができてよかったです。  
(小学6年生 男子)

現在も神岡鉱山への立入調査が続いており、安全管理がなされていることがわかりました。今後も継続してほしいです。  
(30歳代保護者 女性)

富山の子どもたちにイタイイタイ病についての話を聞いてほしいです。  
(40歳代保護者 女性)

高木良信さんの  
展示解説



石けんについての学習



### ○イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

朝から強い日差しが照りつける中、県内外の小学3～6年生とその保護者14組30名が参加し、イタイイタイ病にゆかりのある場所をバスで巡りました。



復元田の見学



富山太陽光発電所PR館の見学

参加者は、資料館展示室やカドミウム汚染から復元された水田を見学後、神岡鉱業(株)へと向かい、和佐保たい積場やシックナー（排水処理施設）、排水管理センターといった工場内の施設を見学。イタイイタイ病の発生源となった工場内の汚れた水が、現在ではどのように処理・管理されているのか、会社より説明を受けました。

最後は、富山太陽光発電所PR館で太陽光発電の仕組みや地球環境にやさしい再生可能エネルギーについて楽しく学びバスツアーを終えました。

開催日時と内容 8月5日(金) <8:20～16:50>

- ①資料館→②復元田(富山市塩地区)→③神岡鉱業(株)
- ④富山太陽光発電所PR館→⑤資料館

### 参加者の声

学校の授業でイタイイタイ病について学習しましたが、バスツアーに参加して、授業で習わなかったことをより詳しく知ることができてよかったです。  
(小学6年生 女子)

公害病の恐ろしさや、克服のためにこれまで多くの方々が真剣に取り組んでいたことがわかりました。これから私達ができることを考え、次の時代につなげていきたいです。  
(40歳代保護者 女性)



## 春の特別企画展『イタイイタイ病弁護団の軌跡』の開催 ～写真パネルの展示や対談、講演で振り返りました～



4月26日(火)から5月5日(木・祝)まで、春の特別企画展として『イタイイタイ病弁護団の軌跡』を開催しました。  
企画展では、弁護団長の正力喜之助氏を中心としたイタイイタイ病弁護団が、昭和43年3月に富山地方裁判所に提訴してから昭和47年8月に勝訴するまでの活動の様子を52枚の写真パネルで紹介しました。会場には、正力氏が裁判勝訴を祝って弁護団の中でも特に貢献のあった弁護士に贈った銀杯も展示され、見学者の興味を引いておりました。

開館記念日である4月29日(金・祝)には、『イタイイタイ病弁護団の活動を振り返って』と題し、イタイイタイ病弁護団団長の朝倉正幸氏と元イタイイタイ病弁護団の松波淳一氏による対談が行われ、昭和43年の弁護団結成時の状況や裁判の歩み等についてエピソードを交えながら当時の活動を振り返っていただきました。

5月3日(火・祝)には、元NHK富山放送局プロデューサーの奥田一重氏による『イタイイタイ病と公害報道』と題する講演では、患者救済や裁判勝訴に向け尽力されたイタイイタイ病対策協議会の初代会長であった小松義久氏や弁護団との思い出を当時の番組映像とともに語っていただきました。

今回の企画展では、弁護団の活動を振り返り、被害者の救済や環境被害の克服が多くの先人の努力の上にあることを会場の皆様と改めて認識したものとなりました。



## イタイイタイ病の教訓継承に向けて

### 『留学生のためのイタイイタイ病講座』を開催しました。

4月27日(水)、県内の留学生らを対象にしたイタイイタイ病講座を開催しました。海外の方々にもイタイイタイ病の歴史を発信しようと初めて企画したものです。

講座では、鏡森館長より『富山のイタイイタイ病の歴史』と題し、病名の由来や症状など英語による講演の後、イタイイタイ病対策協議会副会長で資料館語り部でもある高木良信さんに、患者であった母親の様子や副会長として被害住民と共に裁判を闘ってきた当時の状況など英語の通訳を介して語っていただきました。

言葉の違いはありますが、患者や家族の苦しみ、その苦難を克服してきた過程は、参加した約40名の留学生らにもすっかり伝わっているようでした。



高木良信さんの語り部講話

開催日時と内容

- 4月27日(水) <14:00～16:00>  
場所：富山県市町村会館 ホール  
①講演 演題：『富山のイタイイタイ病の歴史』  
講師：富山県立イタイイタイ病資料館 館長 鏡森定信  
②語り部講話  
語り部：高木 良信(患者家族、イタイイタイ病対策協議会 副会長)

### イタイイタイ病を風化させない教育の実践のために

資料館活用研修会を開催し、県内の小・中学校、特別支援学校16校20名の教員が参加されました。

教員らは、資料館の展示見学、柘山八郎さんの語り部講話の聴講の後、富山市立鶴坂小学校の河上祐三子教諭より事例発表をいただき、資料館見学により児童たちのイタイイタイ病への関心が高まり、それを授業での壁新聞の作成や発表、そして県民フォーラムの参加へと繋げ、学びを広げることができたと紹介されました。

最後に、富山国際大学子ども育成学部の水上義行教授より、イタイイタイ病を教育に位置づける意義や郷土に対する深い学びの大切さなど総括されました。



河上教諭による事例発表

開催日時と内容

- 8月18日(木) <13:30～16:10>  
①資料館学習メニューの紹介  
②実践事例の紹介  
富山市立鶴坂小学校 河上祐三子 教諭  
③総括・指導助言  
富山国際大学子ども育成学部 水上義行 教授

### 『読み聞かせの会』で、イタイイタイ病の恐ろしさなどを伝えました。

8月20日(土)・24日(水)・27日(土)の3日間、解説ボランティアの田村すみ子さん、吉田孝子さんの協力を得て、『読み聞かせの会』を開催しました。

今回は、『骨を喰う川 イタイイタイ病の記録』(毎日新聞社編)を朗読し、資料館の常設展示だけでは伝えることのできない当時の患者や関係者の苦労の様子などを参加者の方々に知っていただきました。

